

「新しい茨城」づくりへの挑戦

参考資料 2

～新しい茨城県総合計画の推進に向けた初年度(令和8年度)の取組～

基本理念

活力があり、県民が日本一幸せな県

4つのチャレンジ → P 8～15

チャレンジ

I



新しい豊かさ

力強い産業の創出と
ゆとりある暮らしを
育み、新しい豊かさ
を目指します



挑
戦
す
る
政
策

- 1 質の高い雇用の創出
- 2 新産業育成と中小企業等の成長
- 3 強い農林水産業
- 4 世界に飛躍する茨城
- 5 自然環境の保全・再生

チャレンジ

II



新しい安心安全

医療、福祉、治安、
防災など県民の
命を守る生活基盤
を築きます



挑
戦
す
る
政
策

- 6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉
- 7 健康長寿日本一
- 8 障害のある人も暮らしやすい社会
- 9 安心して暮らせる社会
- 10 災害・危機に強い県づくり

チャレンジ

III



新しい人財育成

茨城の未来を創る
「人財」を育て、
日本一子どもを
産み育てやすい
県を目指します



挑
戦
す
る
政
策

- 11 次世代を担う「人財」
- 12 魅力ある教育環境
- 13 日本一、子どもを産み育てやすい県
- 14 多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会
- 15 外国「人財」に選ばれ、共に成長する秩序ある共生社会

チャレンジ

IV



新しい夢・希望

将来にわたって
夢や希望を描ける
県とするため、
観光創生や魅力
向上を図ります



挑
戦
す
る
政
策

- 16 魅力発信No.1プロジェクト
- 17 ビジット茨城 ～新観光創生～
- 18 若者が集い、「楽しさ」あふれる茨城
- 19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

特に重点的に進める3つの取組 → P 2～7

本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」

人口減少社会において国内外から多くの人や投資を惹きつけるには、本県ならではの魅力と価値を創出する「差別化」が極めて重要です。このため、常識にとらわれず新しい発想で工夫を重ね、本県独自の「差別化」に取り組みます。

本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」

人口減少社会を乗り越えるための活力を生みだし、持続可能な地域社会を実現するための基盤となるインフラの整備には、しっかりと投資していく必要があります。このため、つくばエクスプレスの土浦延伸や茨城空港の機能強化、水戸保健医療圏の病院再編などの「インフラへの投資」を進めます。

「多様な人財が活躍できる社会の実現」

人口減少社会においては、多様な人財がそれぞれの能力を活かして地域の発展に貢献できる社会づくりが不可欠です。このため、国籍や性別、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが能力と意欲に応じて活躍できる社会の実現に取り組みます。

特に重点的に進める3つの取組

1 本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」



- 県北地域の振興のため日立共創プロジェクトの推進や「里山資源」を活用した誘客促進、また、新産業を育成し魅力的な働く場を創出するため、クリエイティブ・コンテンツ産業のアニメ分野を開拓

(令和8年度予算案)

・日立共創プロジェクト推進事業（45百万円）【R8拡充】【夢・希望】

日立市と日立製作所の協働によるスマートシティの実現に向けた「共創プロジェクト」を推進し、県北地域の振興や地域課題の解決につなげていくため、「スマート産業団地」の整備に向けた事業計画の策定や、交通需要マネジメント施策の検討などに対して支援



・県北里山地域活力創出関連事業（127百万円）【R8拡充】【夢・希望】

県北地域山間部の多様な「里山資源」を活用し、地域一体となった誘客促進や観光消費額の拡大、水郡線の利用促進を図ることで持続的な地域活力を創出

- 県北里山ディスカバリー事業
 - ・ 古民家宿泊など里山体験コンテンツのPR
 - ・ インバウンド誘客も期待できる「体験型忍者コンテンツ」の造成 等
- 水郡線利用促進事業



▲水郡線



・クリエイティブ・コンテンツ産業振興事業（60百万円）【R8新規】【豊かさ】

成長が見込まれるアニメ産業について、若者が学び就業する新たな選択肢を提供できるよう、産官学連携のもと「クリエイターの育成・確保」と「働く場の創出」に挑戦

クリエイターの育成・確保

- 教育機関とアニメ制作会社等が連携した教育体制の構築
- アニメ教育を推進するための教育環境の整備
- 本県出身クリエイター等の移住促進に向けた調査

相乗効果

働く場の創出

- アニメ制作会社等の誘致に向けた調査
- 県内でのアニメ制作会社等の創業・拠点拡大の促進

特に重点的に進める3つの取組

1 本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」(続き)



- 付加価値向上等による儲かる農林水産業の実現のため、スマート農業技術の活用等による有機農業の拡大支援等を進めるとともに、県産品の海外市場への進出を促進

(令和8年度予算案)

・有機農業支援関連事業 (260百万円) 【R8拡充】【豊かさ】



環境負荷低減と高付加価値化の両立が期待できる有機農業の拡大に向けて、スマート農業技術の導入や生産農地の確保等を支援



・霞ヶ浦北浦ウナギ資源増大対策事業 (52百万円) 【豊かさ】

減少の著しい霞ヶ浦北浦の漁業資源を確保するため、高水温に強いウナギ資源の造成に向け、漁業者による**種苗の放流経費を支援**するとともに、**育成した種苗の放流試験**を行い、両者の放流効果を比較し、資源増大効果を実証



シラスウナギ



育成中のウナギ種苗



9か月育成後の個体の例 (45cm、140g)

・県産品海外市場展開戦略プロモーション支援事業 (63百万円) 【R8新規】【豊かさ】

物価高の影響を受けている県内事業者の、多角的な収益基盤の確立と持続的な成長の実現を図るため、**海外での県産品の認知向上と販路開拓**に向けた取組を支援

- 海外プロモーション拠点設置事業 (米国の海外量販店等での継続的な販売フェアを開催)
- 常陸牛集中プロモーション事業 (カナダにおける一般消費者向けプロモーション)
- 海外展示商談会出展支援事業 (独自に茨城ブースを設置)



特に重点的に進める3つの取組

2 本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」



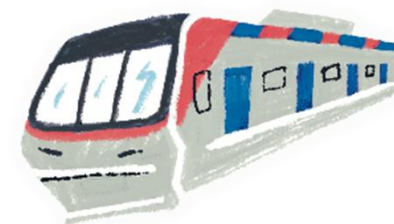
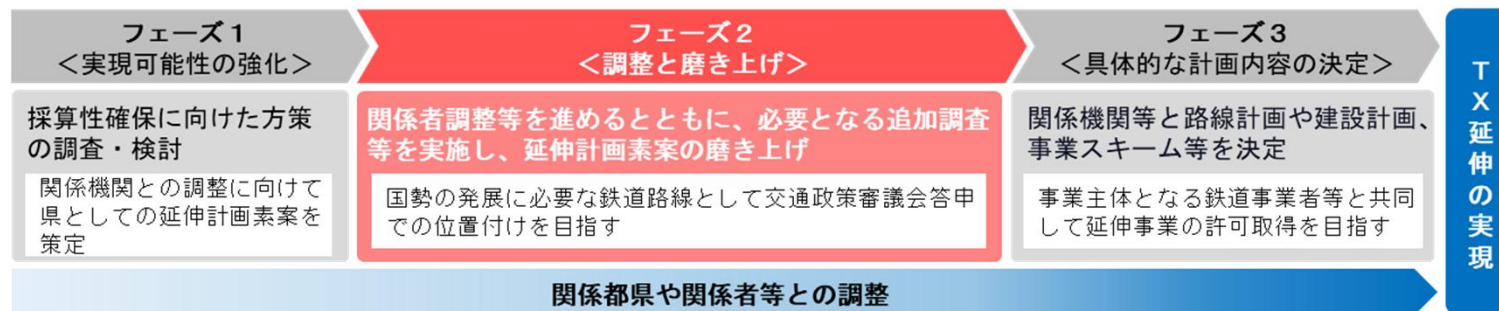
- つくばエクスプレスの土浦延伸構想実現に向けた関係者調整や追加調査・分析を実施するとともに、増加する航空需要に対応するため、茨城空港ターミナルビルの拡張に向けた検討を推進

(令和8年度予算案)

・TX土浦延伸構想推進事業（118百万円）【R8拡充】【夢・希望】

次期交通政策審議会を見据え、TX土浦延伸計画の具体化に向けた、国、関係都県、鉄道事業者等の関係者調整を進めていくために必要な追加調査・分析を実施（延伸効果計測の更なる磨き上げ、事業費削減・精度向上を目的とした調査等）

【TX延伸の実現に向けた今後の進め方について】



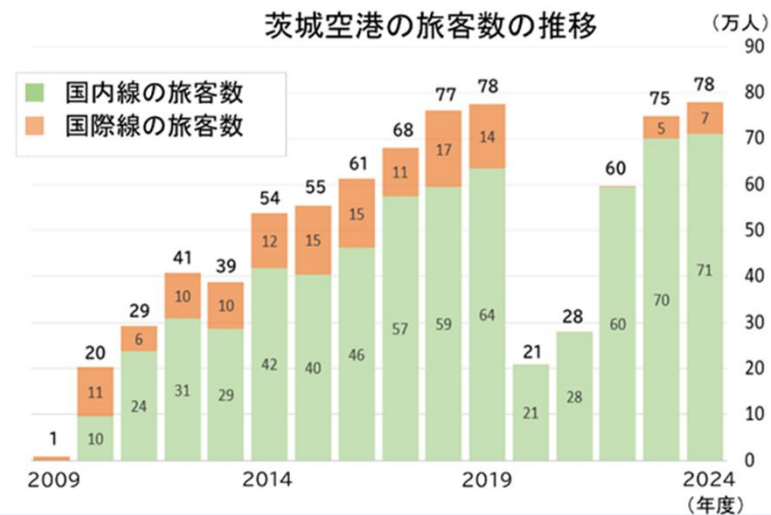
・茨城空港ターミナルビル拡張検討事業（32百万円）【R8新規】【夢・希望】

増加する航空需要に対応し、円滑に旅客や航空会社を受け入れられるよう、空港関係者で構成する会議体を設置し、茨城空港ターミナルビルの拡張等について検討

【ターミナルビルの現状と課題】

- ・2010年3月の茨城空港開港に合わせ建設（16年経過）
- ・2024年度利用者は過去最多の78万人
→ 建設時想定81万人に迫り、混雑が多発
- ・2便同時受入れが困難
→ 1時間に1便の受入を前提に整備されており、航空会社の就航希望への対応が困難

茨城空港の旅客数の推移



特に重点的に進める3つの取組

2 本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」(続き)



- 中央病院とこども病院を統合した新県立病院の整備に向け用地取得等に着手するとともに、グローバル企業の投資を呼び込むため、阿見町実穀地区において新たな工業団地を造成

(令和8年度予算案)

・新県立病院整備関連事業 (35百万円) 【R8新規】【安心安全】

県が責任をもってがん・小児・周産期医療を提供していくとともに、
県央・県北地域の高度急性期医療を担うため、中央病院とこども病院を
統合し、新県立病院を整備
(基本計画の策定、建設用地の測量調査・取得等(債務負担行為))



【参考：整備スケジュール】



<建設用地概要>

所在：笠間市小原地区、
水戸市三湯町地区周辺
面積：約16ha

・阿見実穀地区工業団地造成関連事業 (17,397百万円) 【豊かさ】

産業集積や雇用の核となるグローバル企業の中核拠点への投資を、
機を逃さず取り込むため、立地ニーズが高い圏央道沿線地域の中でも、
I Cや駅に近接し、大規模な画地の供給が可能であるなど、**立地優位性**
が高い「阿見実穀地区」において、**県施行による産業用地開発**を推進



1 阿見実穀地区における新たな工業団地の造成【R8新規】

【計画概要】所在地：阿見町実穀地内ほか 面積：約68ha(分譲面積約50ha)
事業費：約271億円 事業期間：R8年度～

2 県が開発する工業団地に係る誘致活動等

特に重点的に進める3つの取組

3 「多様な人財が活躍できる社会の実現」



- ひとり親家庭の仕事と育児の両立を図るための生活支援等を実施するとともに、生活ルールの啓発や外国人児童生徒への日本語教育支援の強化等を通じ、共生社会の実現を推進

(令和8年度予算案)

・ひとり親ワークライフ臨時サポート事業（206百万円）【R8新規】【人財育成】

家事支援等を必要としているひとり親家庭に対して、**臨時の家庭生活支援員の派遣や施設等における子どもの一時預かりを重点的に実施し、ひとり親家庭の生活の安定を図る**

- ＜事業内容＞ 家事・育児を代行する家庭生活支援員の派遣又は施設等での預かりを実施
- ＜対象＞ 18歳以下の子どもがいるひとり親世帯
- ＜利用者負担＞ なし
- ＜利用上限＞ 小学生以下の子どもがいる世帯：最大96時間/月（中学生以上：最大24時間/月）

・国際化・多文化共生社会推進事業（42百万円）【R8拡充】【人財育成】

共に支え合う共生社会の実現に向け、母語による相談・支援体制の充実に加え、新たに外国人への生活ルールの周知徹底や地域に溶け込む仕組みづくりを推進



・外国人児童生徒日本語教育支援事業（574百万円）【R8拡充】【人財育成】

▲IBARAKIネイティブ
コミュニケーション
サポーター認証式

日本人児童生徒と外国人児童生徒の共生を実現するため、公立小中学校において日本語支援が必要な外国人児童生徒を円滑に受け入れる体制を強化

- 小中学校における日本語支援の推進
 - ・ 対面による日本語支援（日本語支援員の配置拡充）
 - ・ 大学生等によるオンラインでの日本語支援
 - ・ 大学教授等による教員及び日本語支援員のための日本語支援研修
- 【常総市モデル】常総市小中学校への母語支援員の配置とブラジル人学校との交流

【対面による日本語支援】

	R7	R8
日本語支援員数	50人程度	80人程度
配置市町村数	8市町	20市町
支援対象児童生徒数	約550人	約1,600人

特に重点的に進める3つの取組

3 「多様な人財が活躍できる社会の実現」(続き)



- 県立高校における外国人生徒への学校生活や日本語指導の支援体制を強化するとともに、不法就労の防止に向けた巡回指導体制の強化や通報報奨金制度の創設等により、外国人材適正雇用に向けた全県的な取組を促進

(令和8年度予算案)

・高等学校外国人生徒支援事業 (144百万円) 【R8拡充】【人財育成】

県立高等学校において外国人生徒に対する学校生活の支援や日本語指導を一層強化することで、学校における円滑な受入体制を整備し、地域社会の担い手を育成

- 学校生活の支援 (外国人生徒支援コーディネーターによる通訳派遣や翻訳支援 等)
- 日本語指導支援 (日本語能力の把握、日本語指導支援員の派遣 等)
- 授業理解支援 (習熟度別学習、母語支援員の配置、通訳翻訳ソフトによる授業理解の支援 等)

※ <重点校> 外国人特例選抜：在日期間制限なし 募集人員40人
 <支援校> 外国人特例選抜：在日期間3年以内 募集人員2人以上



● : 重点校 (R7: 2校→R8: 6校)
 ▲ : 支援校 (R7: 5校→R8: 4校)

・外国人材適正雇用促進事業 (37百万円) 【R8拡充】【人財育成】

不法就労の防止に向けて、業界団体、事業者及び市町村の関与を高めるとともに、県警等との連携・推進体制を強化し、全県的な取組を促進

現行(R7)

- 適正雇用推進宣言制度
- 適正雇用促進キャンペーン



新たな取組・拡充 (R8~)

- 巡回指導体制の強化
- 通報報奨金制度の創設
- 不法就労情報提供員制度の創設
- 不法就労情報提供システムの導入

<不法就労者の稼働先(R6)>

順位	都道府県名	人数
1位	茨城県	3,452人
2位	千葉県	2,257人
3位	群馬県	1,799人

※出入国在留管理庁令和6年における入管法違反事件についてより



新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。



- 県内中小企業等の持続的な賃上げを促進するため、最低賃金引上げや設備投資等への支援を拡充、また、人材確保に向けた奨学金返還支援や、成長分野への進出を目指す新製品開発等を推進

(令和8年度予算案)

・中小企業等賃上げ支援関連事業 (2,522百万円) 【R8拡充】

本県の経済実態を反映した最低賃金額への引上げ目標を実現するため、県内中小企業等の賃上げを支援し、持続的な賃上げを促進 (最低賃金額改正の中央引上げ目安範囲内 (R8限り) 及び **地方上乘せ分の一部を補助**)

・いばらき業務改善奨励金事業 (902百万円) 【R8拡充】

県内中小企業等の持続的な賃上げを促進するため、国の業務改善助成金の対象外となる事業者についても設備投資等への支援を拡充することにより、さらなる生産性向上を図る

・イノベーション投資促進融資関連事業 (9,680百万円) 【R8拡充】

県内の中小企業・小規模事業者に対し、**大規模な設備投資を後押しする融資制度の活用を促す**ことで、生産性向上等を図り、**持続的な賃上げを促進**

・茨城県企業支援型奨学金返還支援事業 (3百万円) 【R8新規】

県内企業の**人材確保と定着を図る**ため、奨学金を返還している従業員に対する**手当支給**や**代理返還**を実施する中小企業等を支援 【内容】補助率：1/2 補助金額：最大6万円/年・人 補助期間：3年間

・戦略分野新製品開発促進事業 (220百万円) 【R8新規】

成長が見込まれる戦略分野 (宇宙、半導体、GX、フュージョン等) において、**新製品の開発**や**新分野への進出**を目指す県内中小企業の**設備投資等を支援**することにより、県内中小企業の競争力向上を推進

【主な戦略17分野 (日本成長戦略会議)】 AI・半導体、量子、バイオ、航空・宇宙、フードテック、エネルギー・GX、創薬・先端医療、フュージョンエネルギー、マテリアル (素材)、情報通信



新しい豊かさへのチャレンジ (続き)

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

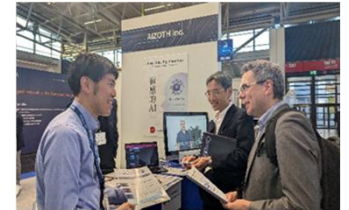


- ものづくり中小企業の海外での販路開拓を支援するとともに、常陸牛のトップブランド化や、需要が拡大する抹茶の産地育成、農畜産物の高温対策等を通じ、農林水産業の成長産業化を促進

(令和8年度予算案)

・ものづくり海外展開推進事業 (139百万円) 【R8拡充】

競争力のある製品や高い技術力を有する県内の「ものづくり中小企業」に対して、海外展示会への出展支援や、専門家による伴走支援を行い、海外での販路開拓を支援



▲海外駐在や貿易実務などの経験豊富な専門家が商談をサポート

・常陸牛のトップブランド化関連対策事業 (210百万円) 【R8拡充】

常陸牛のトップブランド化を図るため、高品質な子牛の生産拡大を支援するほか、品質を担保する出荷体制の整備や県内外でのプロモーション活動を展開



▲プロモーション活動の実施

・いばらきの抹茶産地育成事業 (400百万円) 【R8新規】

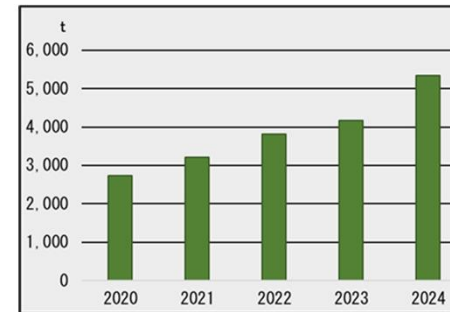
国内外で需要が急速に拡大している抹茶の産地育成に向け、高品質な抹茶づくりに取り組む意欲的な事業者の施設整備を支援



◀高品質な抹茶



◀抹茶生産のための加工施設 (てん茶炉)

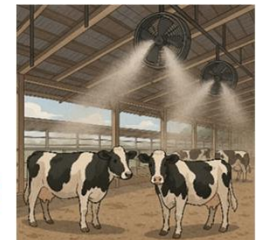
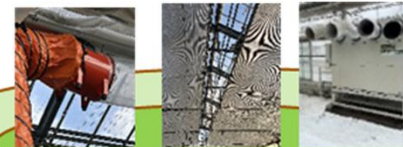


◀全国の抹茶生産量の推移

・高温対策関連事業 (626百万円) 【R8新規】

夏季における農畜産物の安定生産を図るため、施設園芸農家、畜産農家に高温対策設備等の導入を支援するほか、更なる高温リスクに備え、新たな高温対策技術等の検証を実施

外気導入 + 遮光資材 ヒートポンプ





新しい安心安全へのチャレンジ

医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。



- 中核医療機関の救急受入病床確保や「重点医師偏在対策支援区域」での医師確保など、医療提供体制を充実させるとともに、持続可能な地域公共交通の再編・経営改善等を推進

(令和8年度予算案)

・救急受入病床確保推進事業（107百万円）【R8新規】

中核医療機関における救急受入病床の確保を進めるため、中核医療機関が、転院可能な患者を後方支援医療機関に転院できる体制を構築

・重点医師偏在対策支援区域医師確保強化事業（41百万円）【R8新規】

国の「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」に基づき、医師の確保が特に必要な「重点医師偏在対策支援区域」における医師確保の取組を支援

・いばらきモビリティ再編支援事業（20百万円）【R8新規】

持続可能な地域交通の構築に向け、コミュニティ交通の再編に取り組む市町村に対し、課題分析から再編後のフォローアップまで包括的な支援を行うため、再編に向けた調査・分析を実施

・地域公共交通経営改善支援事業（207百万円）

物価高騰や運転士不足の影響を受ける中で、経営改善に取り組む交通事業者に対し、DX・GXの活用による経営改善やバス運転士確保の更なる取組を支援

・有害鳥獣等緊急対策事業（31百万円）【R8拡充】

ツキノワグマの出没に備えた捕獲体制の構築や市町村の資機材整備等を支援するとともに、農林業等の被害防止を図るため、有害鳥獣等の集中的な捕獲を実施

【コミュニティ交通の例】



▲コミュニティバス



▲乗合タクシー





新しい安心安全へのチャレンジ (続き)

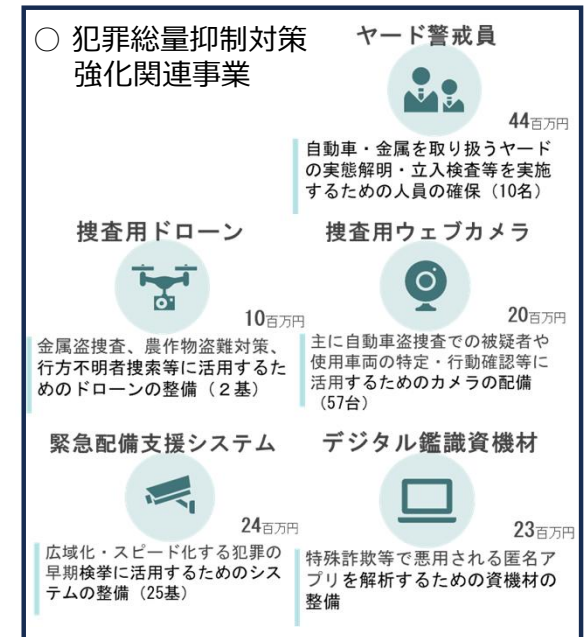
医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。



- 上下水道施設の最適化や老朽化対策、木造住宅の火災被害対策を推進し、災害に強い生活基盤を整備するとともに、ヤード対策等による犯罪抑制・検挙対策の強化や、被害者等への見舞金支給制度の創設などを実施

(令和8年度予算案)

- ・水道広域化関連事業 (2,255百万円) 【R8拡充】** ※R7最終補正予算計上分を含む
 水道事業の経営一体化に関する協定を締結した28市町村等との円滑な経営統合に向け、**水道法上必要な事業認可取得の**手続や**水道基盤強化計画の策定**、管路の危険度・更新緊急度の大幅低減を図るための**A I**を活用した**危険度診断**、浄水場の統廃合など**施設最適化のための整備**を実施
- ・大規模下水道管路緊急改修事業 (3,700百万円) 【R7最終補正】**
 下水道管路の全国特別重点調査により、緊急度 I と判定された**大口径管路の要対策箇所**について、**速やかな対策**を実施
- ・犯罪総量抑制対策強化関連事業 (121百万円) 【R8新規】**
 犯罪の総量を抑制し、安心して暮らせる社会づくりを促進するため、**ヤード警戒員**や**捜査関係資機材**を導入し、**抑止と検挙の両面による対策**を強力に推進
- ・犯罪・性暴力被害者支援事業 (37百万円) 【R8拡充】**
 殺人や傷害などの犯罪行為による被害者や遺族に対する**見舞金支給制度**を創設し、**被害者等への迅速な支援と経済的負担の軽減**を図る
- ・感震ブレーカー設置促進事業 (2百万円) 【R8新規】**
 震災時の発生火災の約半数を占める電気火災について、**住宅における感震ブレーカーの設置費用を補助**することにより、**地震による火災被害を防止**





新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

- 公立高校における教育改革拠点校の創出や、遠隔教育の拡充等による教育環境整備を推進するほか、公立小学校等の給食食材費支援や高校の授業料等支援の拡充により、家庭の教育費負担を軽減



(令和8年度予算案)

・高等学校教育改革促進事業 (60百万円) 【R8新規】

国の高校教育改革に関する基本方針 (グランドデザイン) を踏まえ、公立高校において改革を先導する拠点校を創出するための体制構築を図る

<改革を先導する拠点校の3類型> 次の3類型に応じた拠点校を創出

- ・アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援
※地域産業や社会・生活基盤を支える分野における専門学科等の機能強化・高度化
- ・理数系人材育成支援
- ・多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

・いばらき遠隔教育推進事業 (18百万円) 【R8拡充】

高度な専門性や優れた指導力を持つ人材を活用した「いばらき遠隔教育」を拡充することで、多様で質の高い教育を実現し、児童生徒の学力の向上を図る

- オンラインによるライブ配信 (①配信センターから質の高い授業を配信 ②大学等からプログラミングに関する授業を配信)
- オンデマンド配信「いばらきオンラインスタディplus」

・学校給食負担軽減事業 (7,627百万円) 【R8新規】

国が示すいわゆる 給食無償化 の実現に向け、県内全ての公立小学校等の学校給食に係る食材費の支援を行い、保護者の学校給食費の負担を軽減

・高等学校等就学支援金事業 (26,025百万円) 【R8拡充】

国が示すいわゆる 高校無償化 の実現に向け、高校生等が安心して教育を受けることができるよう、高等学校等の授業料等支援を拡充し、家庭の教育費負担を軽減



【令和8年度 主な変更点】

- ① 私立加算の所得制限撤廃
- ② 私立支給上限額の拡充 (39.6万円 → 45.72万円)
- ③ 県負担の導入 (国10/10→国3/4、県1/4)※交付税措置あり



新しい人財育成へのチャレンジ（続き）

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

- プレ妊活健診の実施や不妊治療費助成の対象拡大など、妊娠・出産の希望がかなう環境づくりを進めるとともに、過疎地域への出産祝金補助や保育施設の受入体制強化により、安心して子育てできる社会を実現



（令和8年度予算案）

・プレ妊活健診事業（33百万円）【R8新規】

将来子どもを望む夫婦が、**早期に妊娠・出産の希望がかなう**よう、妊娠に向けた健康状態を確認できるプレ妊活健診を実施

・不妊治療費助成事業（70百万円）【R8拡充】

妊娠を望み不妊治療に取り組む方の更なる経済的な負担軽減を図るため、

不妊治療費助成事業の対象を拡大

【助成対象】

- ① 保険適用された治療と併用して、自費で実施する先進医療（※）等に係る費用の一部を助成
《助成額》1件あたり上限4万円（県1/2、市町村1/2）
- ② 治療開始年齢が40歳から43歳未満の方で、保険適用外となる4回目以降（最大2回まで）の生殖補助医療に係る費用の一部を助成【新規】 《助成額》1件あたり上限10万円（県10/10）

※先進医療とは、妊娠に対する安全性や有効性において一定の評価を得ており、将来的な保険導入が検討されている先進治療

・過疎地域出産祝金補助事業（40百万円）【R8新規】

過疎地域指定の市町が実施する出産祝金に対して、県が同額を補助することにより、少子化対策の推進を図るとともに地域での子育てを応援

【過疎地域指定の市町：11市町】（R7年度時点）
常陸太田市・潮来市・常陸大宮市・稲敷市・
かすみがうら市・桜川市・行方市・城里町・
大子町・河内町・利根町

・民間保育所等保育サービス支援強化事業（216百万円）【R8新規】

1歳児や障害等のある子どもに手厚い保育の提供ができる環境を整えるため、保育施設の受入体制強化を支援

【内容】 ・1歳児保育サービス支援事業 ・保育ICTシステム導入経費支援事業 ・民間保育所等障害児等受入支援事業

【プレ妊活健診の例】

項目	内容
医師による相談・指導	妊娠に向けた健康や栄養、ライフプラン等に関するアドバイス
女性向け検査	子宮・卵巣の状態、卵巣年齢、性感染症、甲状腺機能等の検査など
男性向け検査	精液検査など
その他	動画等により性や健康に関する正しい知識についての啓発など



新しい夢・希望へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力向上を図ります。



- 新たなご当地グルメの創出や大規模なアウトドアスポーツイベントの開催により地域の魅力を発信するとともに、欧米豪等からのインバウンド誘客促進に向けたプロモーションや五浦美術館のリニューアルを推進

(令和8年度予算案)

・シン・いばらきメシ総選挙事業 (188百万円) 【R8拡充】

本県を代表する新たなご当地グルメ創出のため、「シン・いばらきメシ総選挙2026」を開催し、グランプリグルメを決定するとともに、グランプリグルメを中心に認知拡大や定着化を進めることで、「食」を通じた地域振興を図る

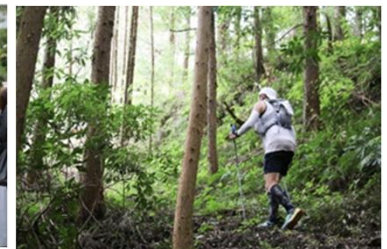
・シン・いばらきメシ総選挙2026 : 2026年10月10日(土)~12日(祝・月) 【県三の丸庁舎(水戸市)】



・アウトドアスポーツイベント事業 (132百万円) 【R8拡充】

本県が誇るサイクルルート「奥久慈里山ヒルクライムルート」とトレイルコース「常陸国ロングトレイル」を活用した大規模イベントを開催し、両コースの認知度向上や県北エリアの魅力発信を図る

・Okukuji X ~Ride&Trail~ 2026 2026年秋開催予定(2日間)



・欧米豪等向けインバウンド誘客促進事業 (78百万円) 【R8新規】

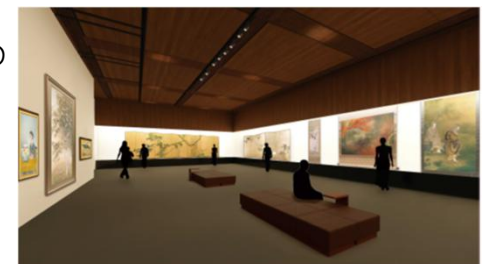
欧米豪や中東地域からのインバウンド需要のさらなる取込みを図るため、旅行会社と県内観光事業者とのマッチングを強化するとともに、**国や地域のニーズを踏まえた戦略的なプロモーションを展開**

・五浦美術館リニューアル事業 (49百万円) 【R8新規】

五浦美術館について、美術館機能を強化し、太平洋の絶景を望む日本画の聖地として、魅力的な施設にリニューアル

【主なリニューアル内容(予定)】常設展示室の日本画展示スペース拡充、ショップ・カフェ拡充 等
【スケジュール(予定)】2026年度：設計委託 2027~2028年度：工事 (半年程度を想定)

▶リニューアル後の常設展示室(イメージ)





新しい夢・希望へのチャレンジ（続き）

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力向上を図ります。



- 官民連携による新カシマサッカースタジアムの建設に向けた基本計画の策定や、ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸を支援

（令和8年度予算案）

・カシマサッカースタジアムの在り方調査検討事業（48百万円）【R8拡充】

カシマサッカースタジアムについて、老朽化により、将来的には維持管理費の増大や安全性の確保が困難になることが見込まれることから、鹿島アントラーズとの官民連携により、新スタジアムの建設に向けた基本計画を策定

【参考：想定スケジュール】 ※現時点の想定であり、実際のスケジュールは今後精査

R8（2026）	R9（2027）以降～		R15（2033）
基本計画	基本設計・実施設計	造成・建設工事	完成目標

・湊鉄道線延伸支援事業（9百万円）【R8新規】

ひたちなか海浜鉄道湊線延伸による観光施設等への利便性向上や地域活性化等が期待できることから、ひたちなか市を通じて延伸事業への支援を実施

【参考：想定スケジュール】

R8（2026）～R9（2027）	R10（2028）～R12（2030）	R13（2031）
地質調査・詳細設計	工事	第1工区開業予定

【参考：延伸区間】

- <第1工区> 阿字ヶ浦駅～新駅1
（国営ひたち海浜公園南口ゲート付近）まで
- <第2工区> 新駅1～新駅2
（国営ひたち海浜公園西口ゲート付近）まで

◎ 経済の好循環に向けた物価高対策の推進

- 物価高が続く中においても経済の好循環を安定して実現していくため、賃上げ環境の整備や産業振興支援、社会インフラ等への支援を実施

(令和8年度予算案)

物価高対策関連事業 (19,422百万円) ※R7最終補正予算計上分を含む

1 賃上げ環境の整備 (3,424百万円)

- ・ 事業者の最低賃金引き上げに係る経費の一部を補助
- ・ 国制度に上乘せし生産性向上のための設備投資に係る経費等の一部を補助 等

2 物価高の状況下における産業振興支援 (10,155百万円)

- ・ 中小企業の生産性向上に向けた設備投資の融資枠拡充や信用保証料補助率の臨時的な引上げ
- ・ ものづくり企業への伴走支援 等

3 社会インフラ等(医療機関、福祉施設、地域公共交通など)への支援 (5,843百万円)

- ・ 光熱水費等支援 (医療機関、介護施設、障害福祉事業所、私立幼稚園・保育所等)
- ・ ICT機器導入による生産性向上等を図る医療機関や介護事業所、地域公共交通等への補助
- ・ 子ども食堂等を実施する団体に食料品を支援 等